

「平塚市民病院経営強化プラン」の令和6年度実績評価について

【総合評価】

○自己点検（令和6年度）

令和6年度は、「私たちは、市民の健康を守り、地域医療に貢献します。」の理念に基づき、高度急性期病院として、DPCにおける適正な入院期間を意識した上で、入院が必要な患者の積極的な受入れに重点的に取り組みました。

その結果、「新入院患者数」は前年度と比べ増加し、新型コロナウイルス感染症流行前を上回りました。また、「DPC入院期間Ⅱ以内での退院率」が75.8%と高い水準となり、「入院診療単価」の増加につながりました。収支では、医業収益が増加したものの、給与費の増加や物価高騰の影響で医業費用も増加したため、「修正医業収支比率」が悪化した一方、一般会計からの繰入金増加により、「経常収支比率」は改善しました。

主な取組としては、高度急性期病院として、9月に循環補助用心内留置型ポンプカテーテル、1月に末梢血管用血栓吸引デバイスなどの高度医療機器を導入し、循環器領域や末梢血管治療の充実を図るとともに、手術支援ロボットの症例拡大を進め、他の医療機関の症例見学を受け入れる施設となっています。さらに、高規格救急車を購入し、2月から医師等の現場出勤や医療機関等との搬送に活用しており、患者の救命や地域連携に役立てているほか、救急車の搬送需要の一部を病院車両が担うことで、救急隊の負担軽減に貢献しています。職員の育成においては、看護師特定行為研修機関としての1期目の研修が終了し、「救急領域パッケージ」に2人、「末梢留置型中心静脈注射用カテーテル」に2人の特定看護師の育成が終了しており、引き続き2期目の研修を行っています。また、市民健康講座を前年度に続き開催したほか、令和6年7月に小学生向けイベント「キッズ病院お仕事体験『救命救急センター24時』」を初めて開催するなど、市民や地域住民とのコミュニケーションの機会を確保しました。

最重点指標である「新入院患者数」のほか、「救急搬送応需率」や「手術件数」などが目標値を超えたものの「修正医業収支比率」が悪化したことから、診療報酬の収益構造が物価高騰などによるコスト上昇に迫っていない状況にあると考えられます。病院を取り巻く経営環境が厳しいことを認識したうえで、今後も地域の中核病院として、高度医療、急性期医療、政策的医療を担う病院の役割を果たし、健全経営を行うために、引き続き職員一丸となって病院運営を行います。また、人材確保に向けて採用活動を積極的に実施するとともに、教育の充実・キャリアアップの支援など職員が成長を実感できる魅力ある環境を整え、医療の質の向上により、地域の医療機関や住民、患者から信頼を得て「選ばれる病院」となることを目指します。

項目		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	項目		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
新入院患者数	上半期(人)	5,303	4,254	4,777	4,870	5,066	5,259		DPC入院期間Ⅱ以内での退院率	上半期(%)	66.5	63.5	69.7	70.3	74.9	76.3	
	年間(人)	10,187	8,684	9,212	9,683	10,109	10,477			年間(%)	66.1	64.3	70.6	71.0	75.5	75.8	
入院診療単価	上半期(円)	66,539	60,282	72,016	75,629	81,693	84,250		修正医業収支比率 ※R6目標値：84.0	上半期(%)	95.9	78.1	88.0	86.5	87.9	87.1	
	年間(円)	67,307	69,969	76,904	82,359	84,197	85,902			年間(%)	90.2	82.5	86.4	88.5	86.5	84.5	
経常収支比率 ※R6目標値：96.7	上半期(%)	104.9	88.4	96.5	87.8	95.8	94.3		手術件数（中央手術室） ※R6目標値：4,400	上半期(件)	2,033	1,635	1,999	2,104	2,031	2,294	
	年間(%)	99.6	115.4	118.0	105.7	96.8	97.6			年間(件)	4,007	3,356	3,882	4,234	4,140	4,642	

○外部点検（平塚市病院運営審議会）

全国的に病院が厳しい経営環境に置かれている中でも、高度医療機器を積極的に導入するなど、引き続き地域で高度・急性期医療、政策的医療をしっかりと担っていることが分かる。また、社会貢献として小学生、中高生向けの活動を行うなど、将来的な医療人材の確保を目指して取り組んでいることも評価でき、実際に研修医の応募状況などから若手医師に選ばれる病院となっていると感じる。さらに、KPIの設定により、客観的に分かりやすく説明している。

一方で連携医療機関の訪問などが十分にできていないように感じられるため、連携先と緊密な関係性を充実させてもらいたい。また、オンラインの活用も図りながら薬薬連携にも努めてほしい。さらに、患者は入院、転院などの際に不安を持っているが、安心感を与えられるように相談窓口の充実が必要であると考える。病院経営の点では、病床利用率が85%を下回ると厳しいと言われており、大幅な患者数増加が見込めない中ではあるが、常に90%以上の満床に近い状態の運用を目指してもらいたい。今後も、市民講座の更なる開催や取組の積極的なアピールにより、市民から親しまれる病院となるようにしてほしい。

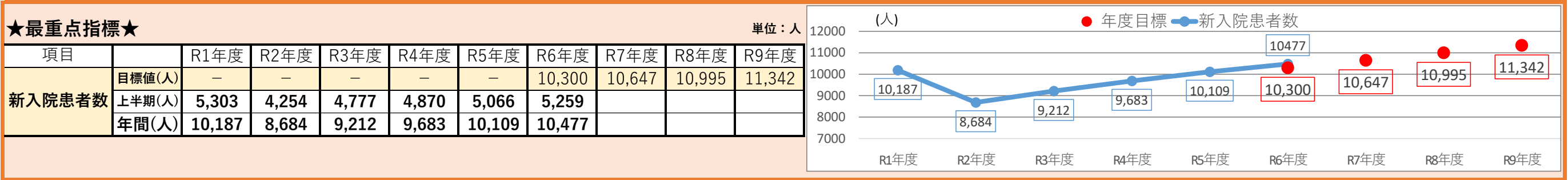
○市長からの意見・指示

令和6年度は、厳しい経営環境にある中で、引き続き質の高い医療を提供するとともに、市民や患者に対する活動を強化していることは評価できる。特に「新入院患者数」、「入院診療単価」や「手術件数」などが増加しており、K P I は改善してきている。

一方で物価や人件費の高騰により「修正医業収支比率」、「職員給与額医業収益比率」などの経営指標は悪化している。このような中で、持続的に質の高い医療を提供するためには健全経営を進める必要があり、外部委員の意見にもあるように、地域の医療機関との緊密な関係の構築のほか、更なる効率的な運用による費用の抑制を期待している。

また、高齢化のピークを迎える2040年頃とその先を見据え、医療・介護の複合ニーズを抱える85歳以上人口の増大や新たな医療ニーズに対応できるよう、地域にあるべき医療提供体制の構築が必要となるため、長期的な視点をもった運営も行ってもらいたい。

今後も市民からの信頼を得て「選ばれる病院」になれるよう、職員が一丸となって高度・急性期医療と政策的医療を提供し続けてほしい。



I 医療の質と効率の視点

令和6年度（病院事業管理者、病院長、副病院長評価）

令和6年度は、「救急搬送応需率」の目標を超えましたが、市内外からの救急搬送が減少したことで「救急搬送患者受入数」は減少しました。一方、「救急車搬送患者入院患者数」が増加していることから、入院が必要な重症患者を多く受け入れることができました。また、「手術件数」については、医師数が増加した診療科をはじめ多くの診療科で増加しました。「逆紹介率」、「紹介患者数」が増加しており、地域の医療機関との連携強化が進んでいます。

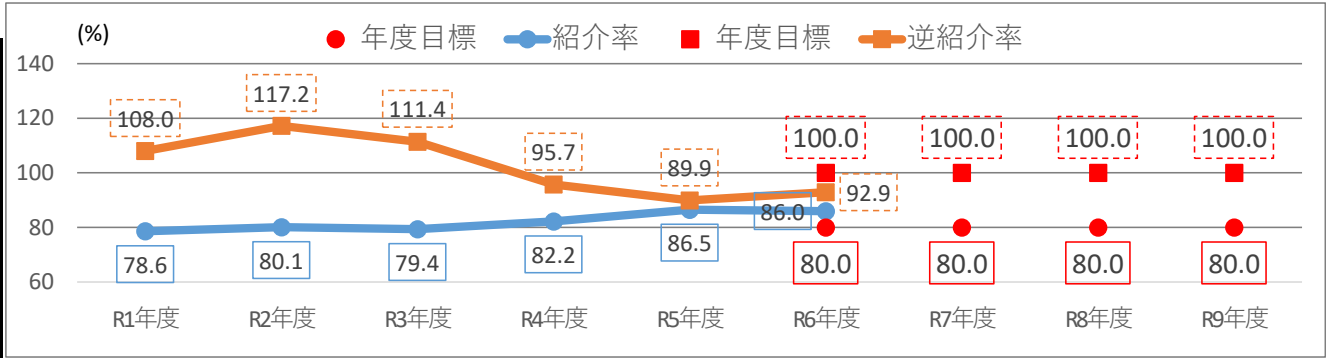
今後も、地域完結型医療の中で、高度医療、急性期医療を提供するため、医師の確保などを行い、入院が必要な患者を積極的に受け入れるとともに、市民や医療機関に有用な情報発信を行います。

K P I

(ア) 紹介率・逆紹介率

単位：％

区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
紹介率	目標値	－	－	－	－	－	80.0	80.0	80.0	80.0
	上半期実績	74.9	77.8	77.6	80.5	86.3	85.4			
	年間実績	78.6	80.1	79.4	82.2	86.5	86.0			
逆紹介率	目標値	－	－	－	－	－	100.0	100.0	100.0	100.0
	上半期実績	100.3	111.1	109.3	98.6	86.4	87.0			
	年間実績	108.0	117.2	111.4	95.7	89.9	92.9			



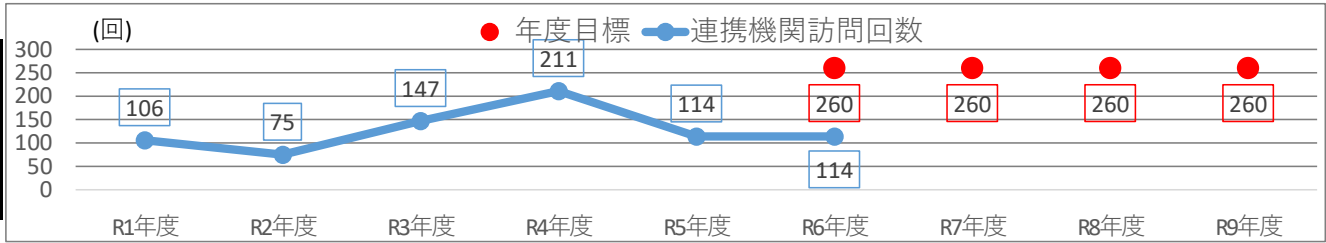
※紹介率=紹介患者の数(初診に限る)/ {(初診患者の数(初診料算定患者))- (救急自動車により搬入された患者数(初診に限る))- (休日又は夜間に受診した救急患者数(初診に限る))- (健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認め治療を開始した患者数(初診に限る))} ×100

※逆紹介率=逆紹介患者の数(診療情報提供料算定患者数)/ {(初診患者の数(初診料算定患者))- (救急自動車により搬入された患者数(初診に限る))- (休日又は夜間に受診した救急患者数(初診に限る))- (健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認め治療を開始した患者数(初診に限る))} ×100

(イ) 連携機関訪問回数

単位：回

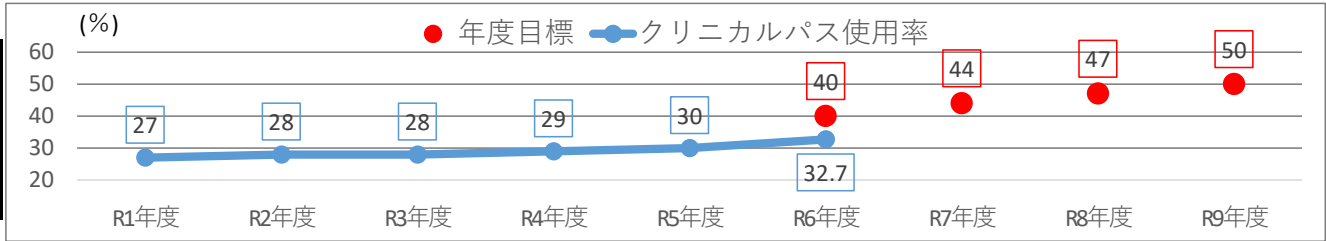
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
連携機関訪問回数	目標値	－	－	－	－	－	260	260	260	260
	上半期実績	－	－	－	－	－	－			
	年間実績	106	75	147	211	114	114			



(ウ) クリニカルパス使用率

単位：％

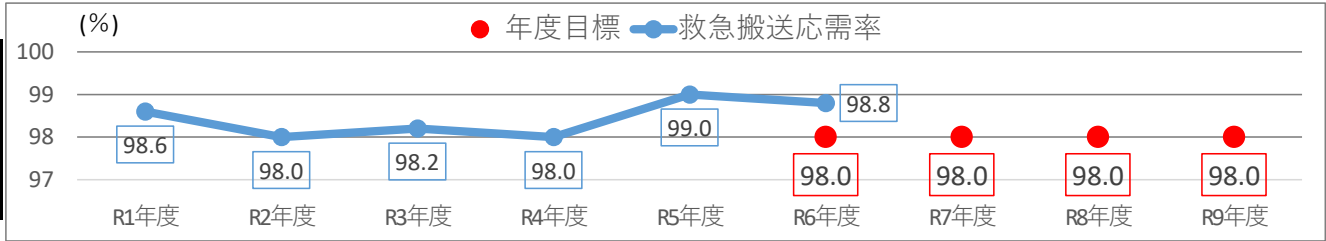
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
クリニカルパス 使用率	目標値	－	－	－	－	－	40	44	47	50
	上半期実績	－	－	－	－	－	33.7			
	年間実績	27	28	28	29	30	32.7			



(エ) 救急搬送応需率

単位：％

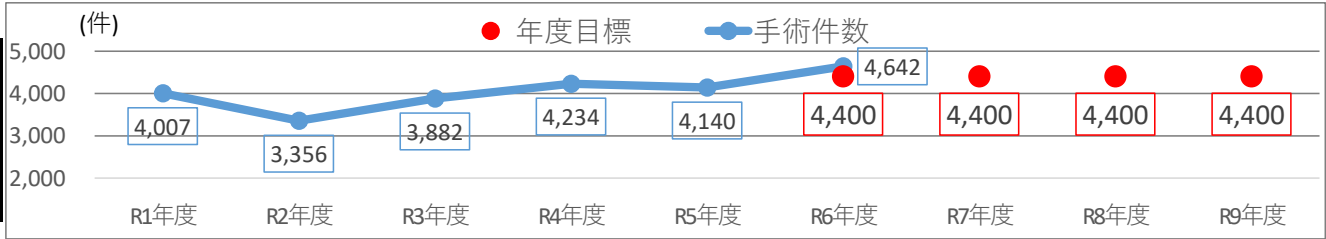
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
救急搬送応需率	目標値	－	－	－	－	－	98.0	98.0	98.0	98.0
	上半期実績	－	－	98.4	98.3	99.1	99.3			
	年間実績	98.6	98.0	98.2	98.0	99.0	98.8			



(オ) 手術件数（中央手術室）

単位：件

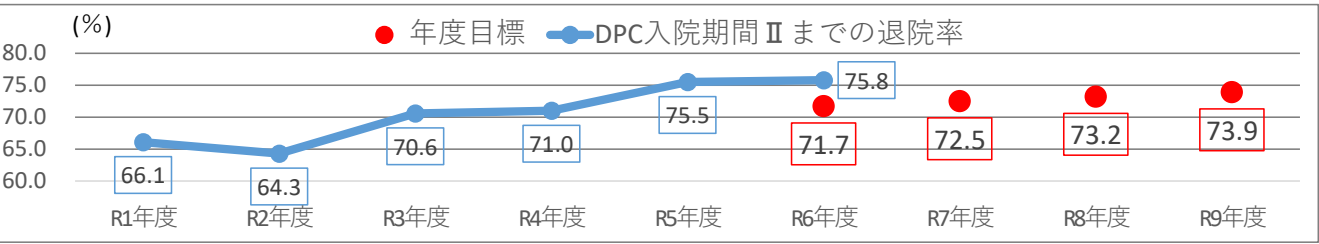
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
手術件数 （中央手術室）	目標値	－	－	－	－	－	4,400	4,400	4,400	4,400
	上半期実績	2,033	1,635	1,999	2,104	2,031	2,294			
	年間実績	4,007	3,356	3,882	4,234	4,140	4,642			



(カ) D P C入院期間Ⅱまでの退院率（入院期間尺度）

単位：％

区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
DPC入院期間Ⅱ までの退院率 （入院期間尺度）	目標値	－	－	－	－	－	71.7	72.5	73.2	73.9
	上半期実績	66.5	63.5	69.7	70.3	74.9	76.3			
	年間実績	66.1	64.3	70.6	71.0	75.5	75.8			

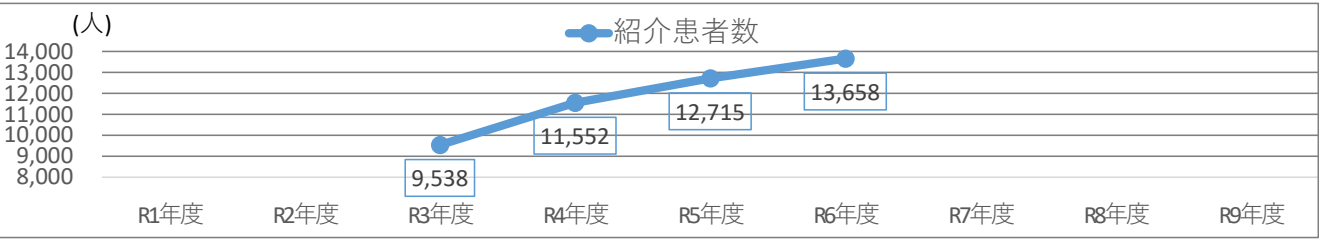


継続してモニタリングする数値

(ア) 紹介患者数

単位：人

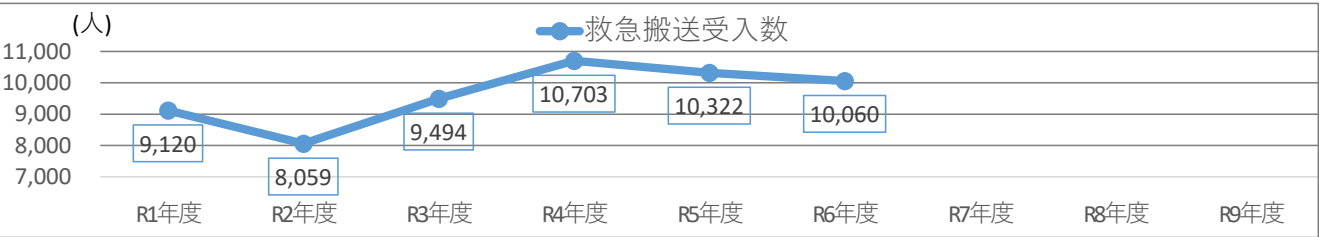
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
紹介患者数	上半期実績	－	－	－	－	－	6,996			
	年間実績	－	－	9,538	11,552	12,715	13,658			



(イ) 救急搬送受入数

単位：人

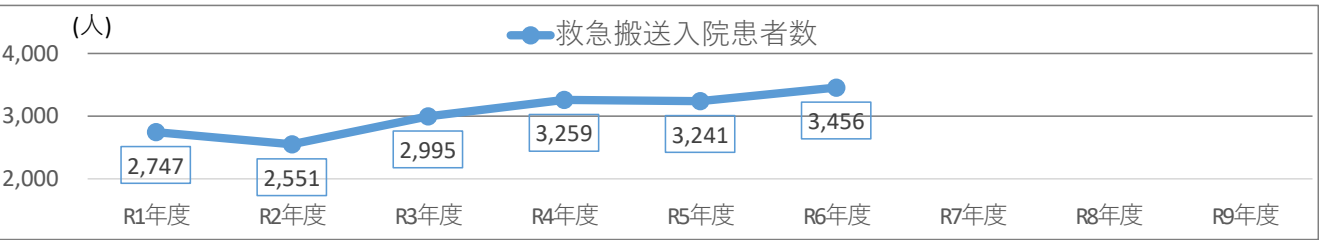
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
救急搬送受入数	上半期実績	4,771	3,970	4,695	5,464	5,218	4,915			
	年間実績	9,120	8,059	9,494	10,703	10,322	10,060			



(ウ) 救急搬送入院患者数

単位：人

区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
救急搬送 入院患者数	上半期実績	1,446	1,226	1,494	1,629	1,643	1,627			
	年間実績	2,747	2,551	2,995	3,259	3,241	3,456			



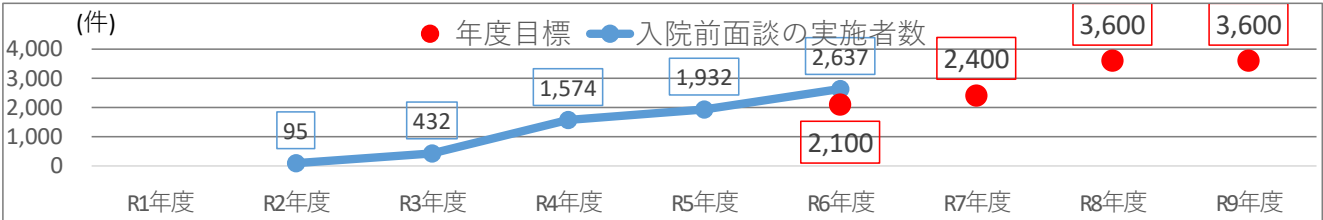
※令和6年度上半期実績は、精査の結果、上半期実績報告時とは変更となっています。

II 患者満足の視点

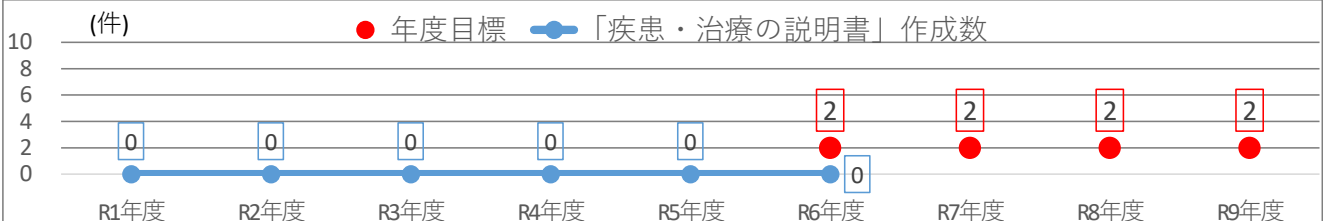
令和6年度（病院事業管理者、病院長、副病院長評価）									
令和6年度は、PFMの拡充に努めた結果、入院前面談の件数が増加しました。また、三次救急医療機関として救急対応を行うとともに、平塚・中郡地域の産科・小児科の二次救急当番を当院のみで担い、平塚・中郡地域で唯一分娩ができる病院として医療体制を維持しました。「分娩件数」は、帝王切開による分娩の増加により、前年度よりも増加しました。									
今後も、患者に有用な情報発信を行うとともに、患者とのコミュニケーションの強化を図り、公立病院として求められている地域の医療ニーズに応えることで、患者満足の向上に努め、地域の医療機関や住民の信頼を獲得し、選ばれる病院となることを目指します									

K P I

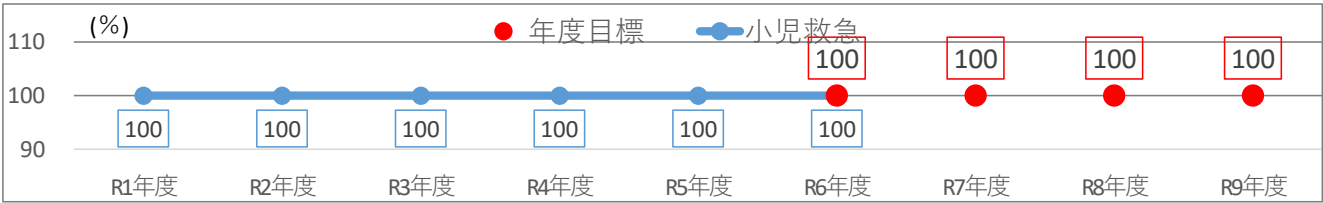
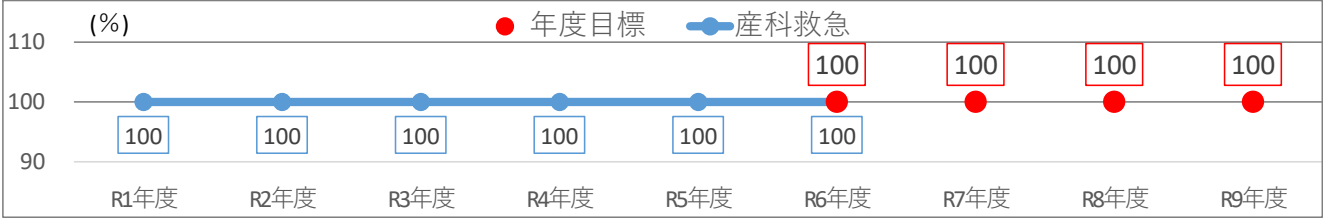
（ア）入院前面談の実施者数										単位：件
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
入院前面談の実施者数	目標値	－	－	－	－	－	2,100	2,400	3,600	3,600
	上半期実績	－	－	－	－	－	－			
	年間実績	－	95	432	1,574	1,932	2,637			



（イ）「疾患・治療の説明書」作成数										単位：件
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
「疾患・治療の説明書」作成数	目標値	－	－	－	－	－	2	2	2	2
	上半期実績	－	－	－	－	－	0			
	年間実績	0	0	0	0	0	0			

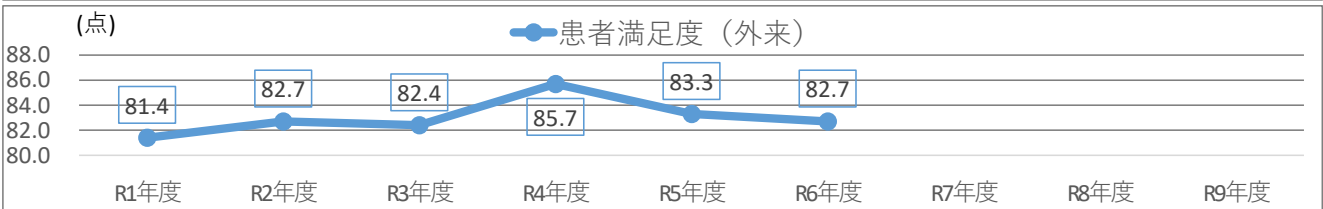
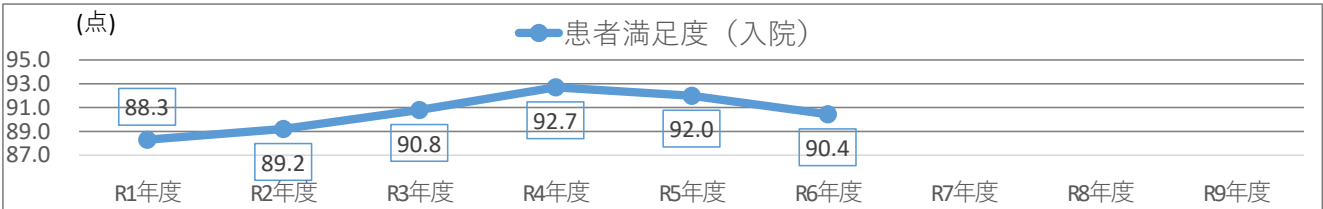


（ウ）産科救急、小児救急の24時間365日対応率										単位：％
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
産科救急	目標値	－	－	－	－	－	100	100	100	100
	上半期実績	100	100	100	100	100	100			
	年間実績	100	100	100	100	100	100			
小児救急	目標値	－	－	－	－	－	100	100	100	100
	上半期実績	100	100	100	100	100	100			
	年間実績	100	100	100	100	100	100			



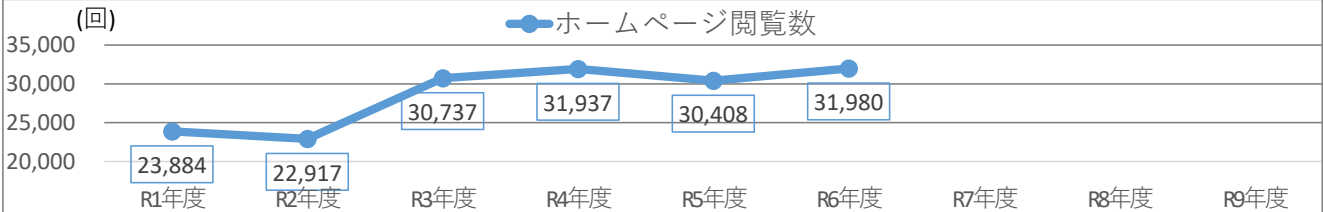
継続してモニタリングする数値

（ア）患者満足度										単位：点
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
入院	年間実績	88.3	89.2	90.8	92.7	92.0	90.4			
外来	年間実績	81.4	82.7	82.4	85.7	83.3	82.7			

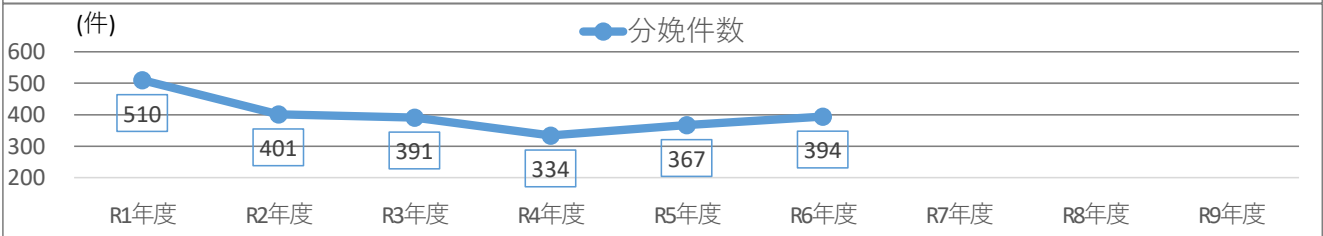


※毎年度実施している患者満足度調査における総合評価の平均点数（100点満点）

（イ）ホームページ閲覧数（月平均）										単位：回
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
ホームページ閲覧数（月平均）	上半期実績	24,182	23,861	31,795	34,161	32,068	34,021			
	年間実績	23,884	22,917	30,737	31,937	30,408	31,980			



（ウ）分娩件数										単位：件
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
分娩件数	上半期実績	264	226	189	181	158	199			
	年間実績	510	401	391	334	367	394			



※令和6年度上半期実績は、精査の結果、上半期実績報告時とは変更となっています。

III 社会貢献の視点

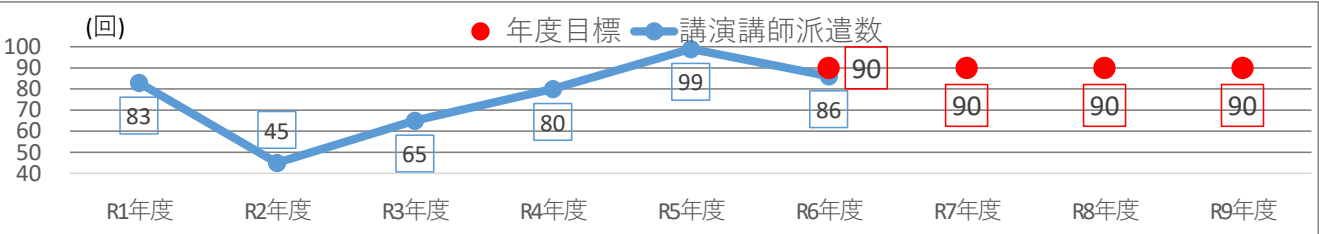
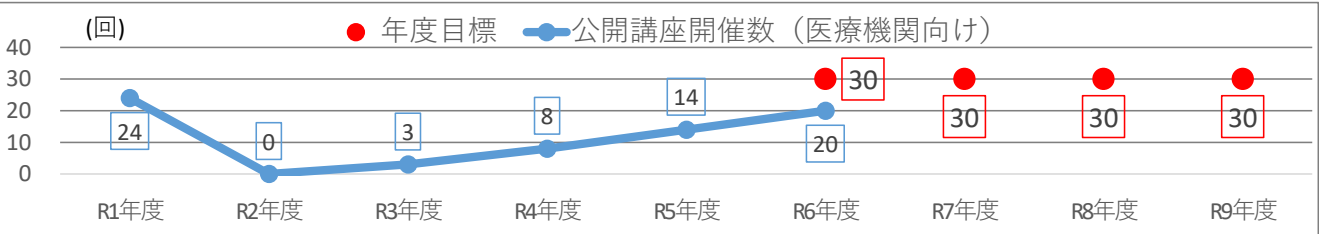
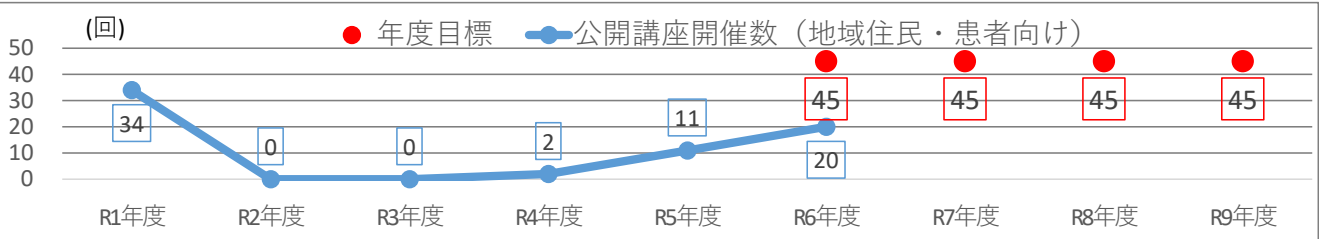
令和6年度（病院事業管理者、病院長、副病院長評価）									
地域医療支援病院として、救急医療、災害医療や人材育成、情報発信など様々な分野での社会貢献に積極的に取り組んでいます。令和6年度は、当院の医師、看護師などが市民、患者向けに疾患や治療について説明する市民健康講座を開催したほか、子どもたちに病院や医療への関心を深めるために初めて「キッズ病院お仕事体験2024『救命救急センター24時』」を開催しました。 今後も、市民や医療機関に有用な情報発信を行うとともに、地域に出て活動することで、広く社会全体に貢献し、当院の存在価値を高めていきます。									

K P I

（ア）平塚市民病院主催公開講座開催数、院外からの依頼による講演講師派遣数

単位：回

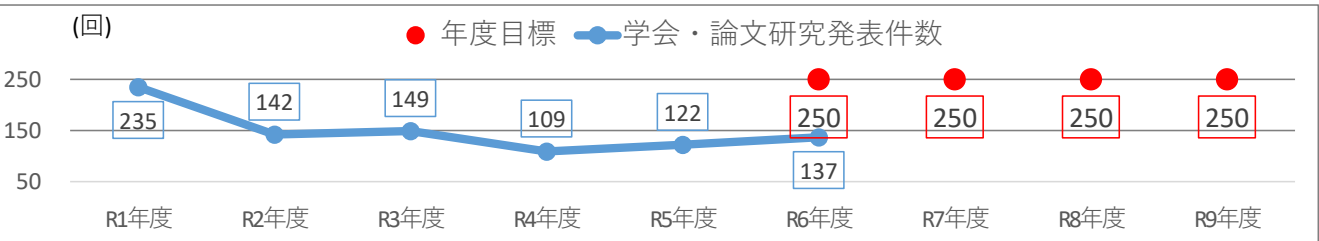
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公開講座開催数 （地域住民・患者向け）	目標値	－	－	－	－	－	45	45	45	45
	上半期実績	－	－	－	－	－	－			
	年間実績	34	0	0	2	11	20			
公開講座開催数 （医療機関向け）	目標値	－	－	－	－	－	30	30	30	30
	上半期実績	－	－	－	－	－	－			
	年間実績	24	0	3	8	14	20			
講演講師派遣数 （院外依頼）	目標値	－	－	－	－	－	90	90	90	90
	上半期実績	－	－	－	－	－	－			
	年間実績	83	45	65	80	99	86			



（イ）学会・論文研究発表件数

単位：回

区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
学会・論文 研究発表件数	目標値	－	－	－	－	－	250	250	250	250
	上半期実績	－	－	－	－	－	－			
	年間実績	235	142	149	109	122	137			

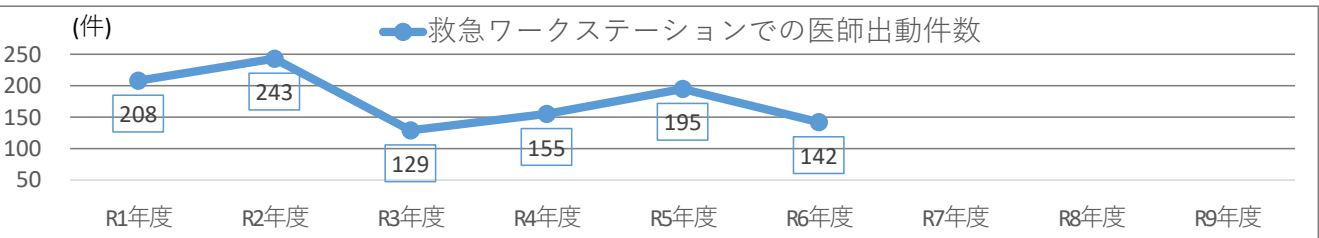


継続してモニタリングする数値

（ア）救急ワークステーションでの医師出動件数

単位：件

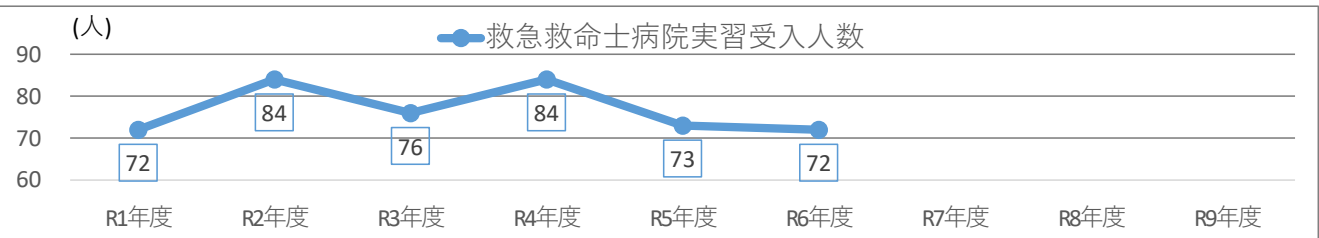
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
救急ワークステーションでの医師出動件数	上半期実績	97	75	59	73	96	60			
	年間実績	208	243	129	155	195	142			



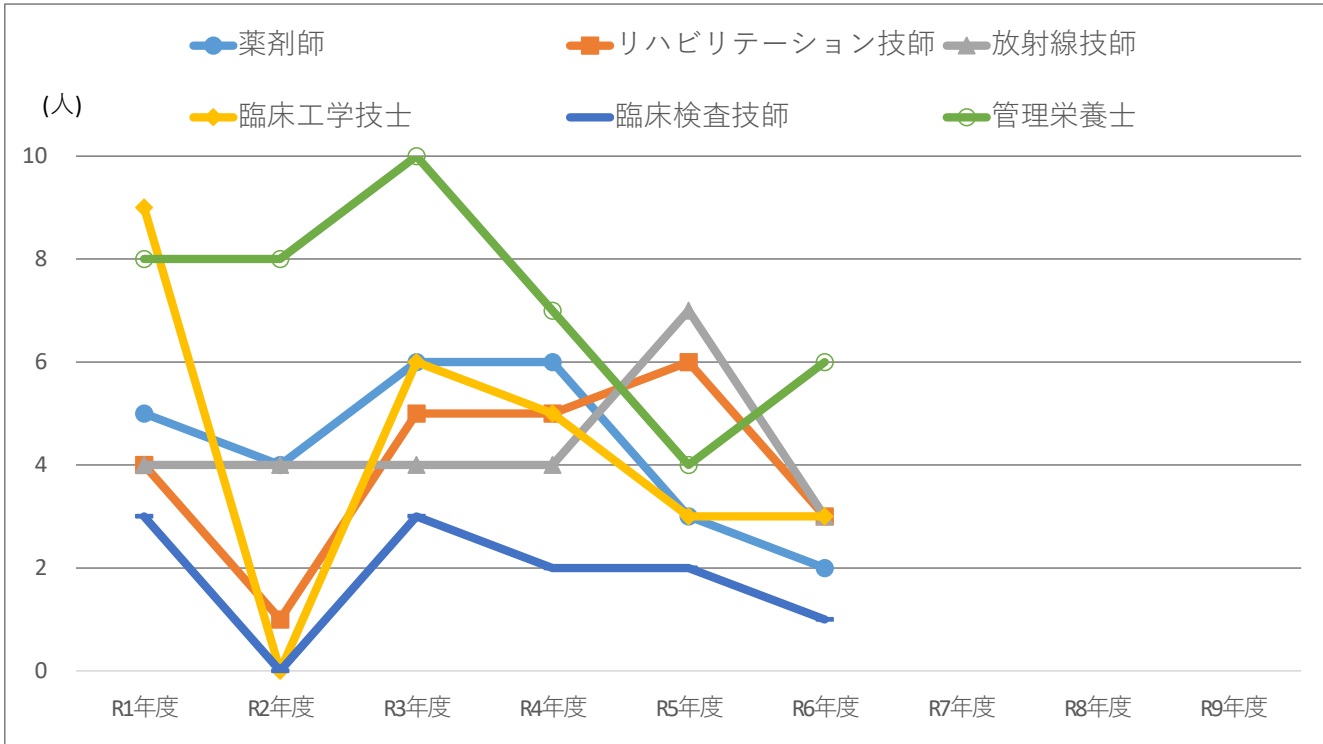
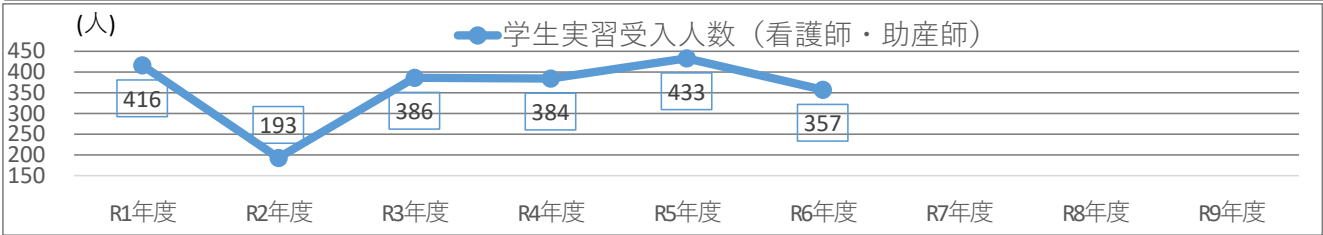
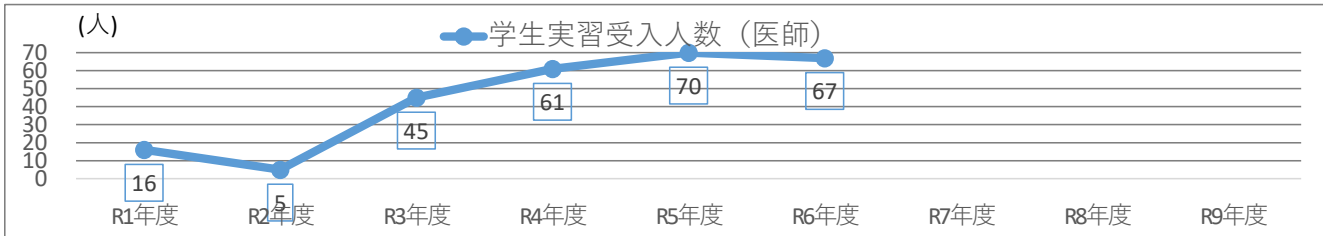
（イ）救急救命士病院実習受入人数

単位：人

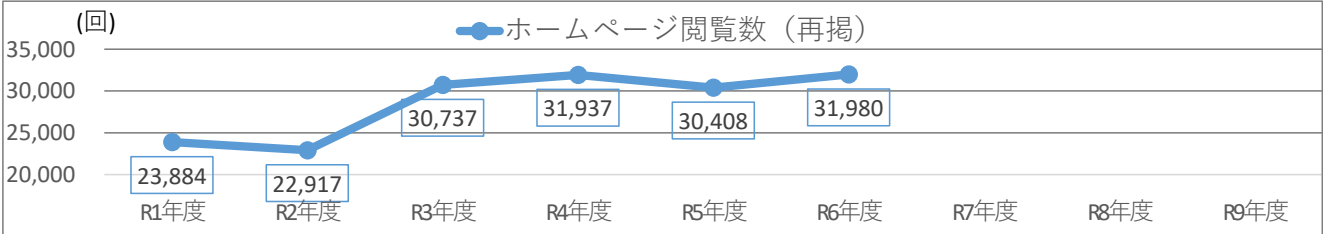
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
救急救命士病院実習受入人数	上半期実績	61	60	62	70	48	44			
	年間実績	72	84	76	84	73	72			



(ウ) 学生実習受入人数										単位：人
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
医師	上半期実績	11	0	32	42	46	45			
	年間実績	16	5	45	61	70	67			
看護師・助産師	上半期実績	270	55	221	197	232	221			
	年間実績	416	193	386	384	433	357			
薬剤師	上半期実績	5	4	6	6	3	2			
	年間実績	5	4	6	6	3	2			
リハビリテーション技士	上半期実績	2	0	1	1	2	1			
	年間実績	4	1	5	5	6	3			
放射線技師	上半期実績	2	1	4	3	5	3			
	年間実績	4	4	4	4	7	3			
臨床工学技士	上半期実績	9	0	6	5	3	3			
	年間実績	9	0	6	5	3	3			
臨床検査技師	上半期実績	3	0	3	2	2	1			
	年間実績	3	0	3	2	2	1			
管理栄養士	上半期実績	2	1	4	4	0	0			
	年間実績	8	8	10	7	4	6			



(エ) ホームページ閲覧数（月平均）（再掲）										単位：回
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
ホームページ 閲覧数（月平均） （再掲）	上半期実績	24,182	23,861	31,795	34,161	32,068	34,021			
	年間実績	23,884	22,917	30,737	31,937	30,408	31,980			



(オ) 公開講座参加者数（市民健康講座参加者数）										単位：人
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公開講座参加者数 （市民健康講座参 加者数）	上半期実績	－	－	－	－	－	64			
	年間実績	－	－	－	－	250	184			



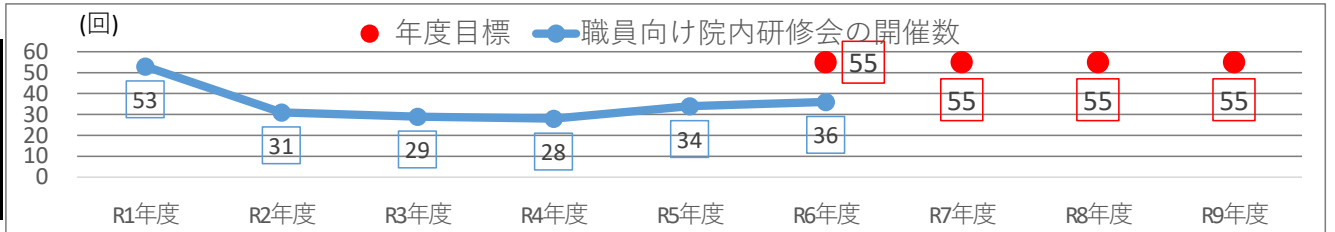
IV 職員の学習と成長の視点

令和6年度（病院事業管理者、病院長、副病院長評価）									
職員の教育・育成は、当院の基本方針にも位置付けられている重要な要素であり、質の高い職員を育成するために、成長の機会を提供し、職員にとって魅力ある環境を整備することが必要であると考えています。									
令和6年度は、オンラインも活用しながら、様々な工夫をして研修会等を開催し、職員の教育・育成を行いました。									
今後も、教育の場の充実やキャリアアップ制度の整備により、学習意欲の高い職員を支援する環境を整え、職員の育成、能力向上を図ります。									

K P I

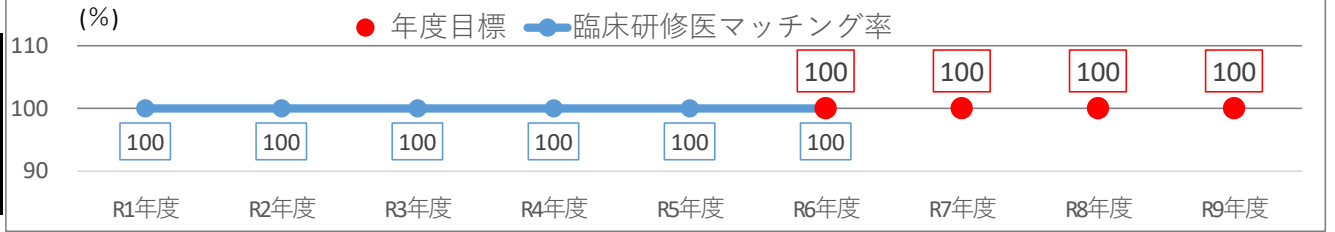
（ア）職員向け院内研修会の開催数

区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
職員向け 院内研修会の 開催数	目標値	－	－	－	－	－	55	55	55	55
	上半期実績	－	－	－	－	－	－			
	年間実績	53	31	29	28	34	36			



（イ）臨床研修医マッチング率

区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
臨床研修医 マッチング率	目標値	－	－	－	－	－	100	100	100	100
	上半期実績	－	－	－	－	－	－			
	年間実績	100	100	100	100	100	100			



継続してモニタリングする数値

（ア）医師在職者数

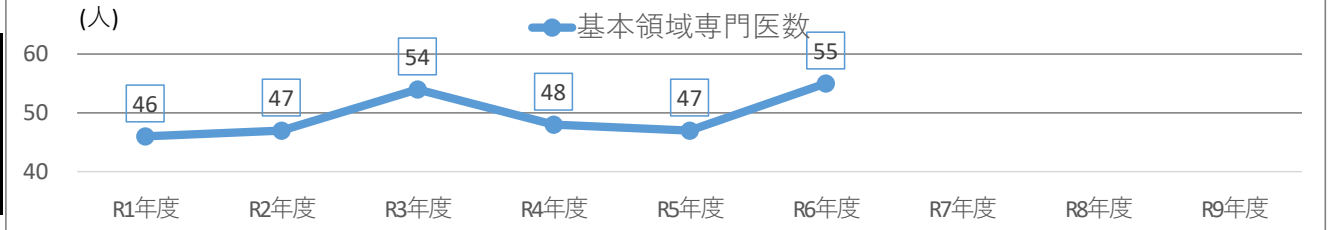
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
医師在職者数	実績	－	－	94	101	100	109			



※実績は各年度10月1日時点

（イ）基本領域専門医数

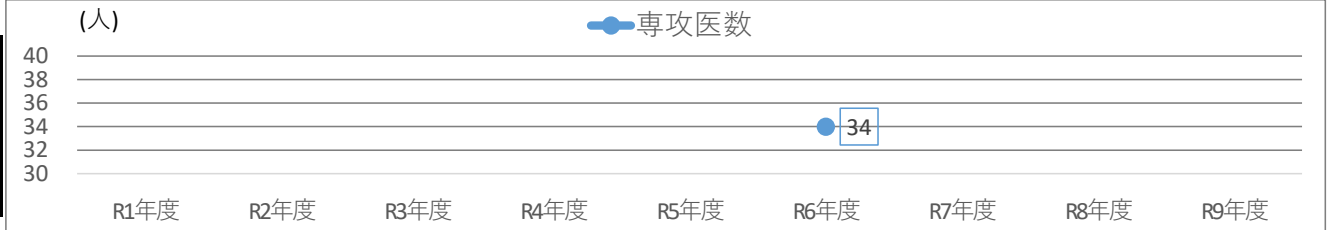
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
基本領域専門医数	実績	46	47	54	48	47	55			



※実績は各年度10月1日時点

（ウ）専攻医数

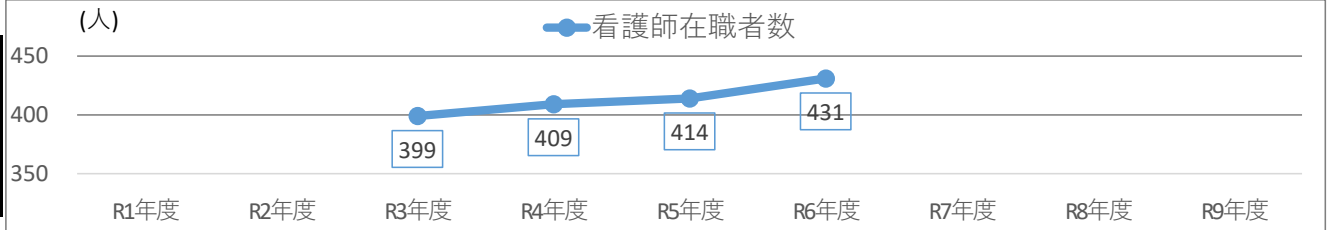
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
専攻医数	実績	－	－	－	－	－	34			



※実績は各年度10月1日時点

（エ）看護師在職者数

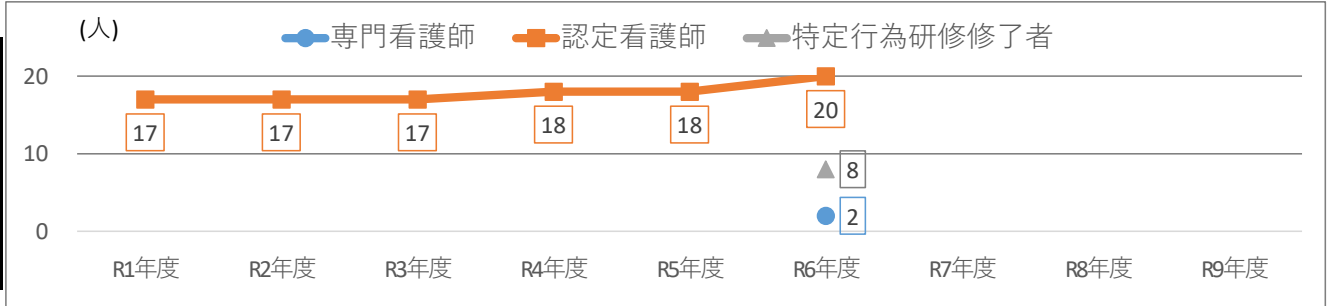
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
看護師在職者数	実績	－	－	399	409	414	431			



※実績は各年度10月1日時点

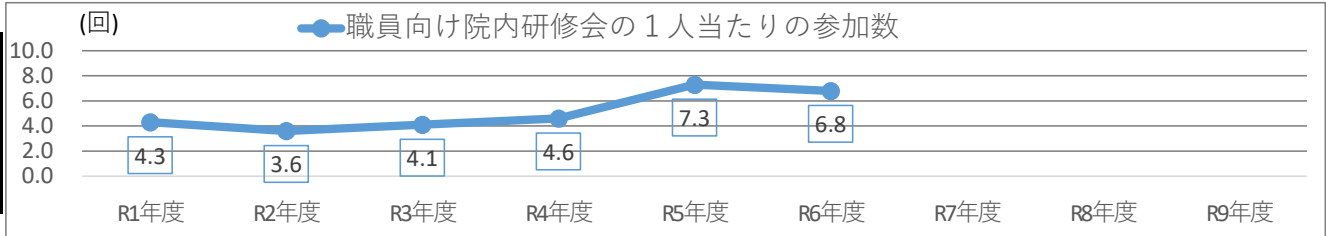
（オ）専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了者の在籍者数

区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
専門看護師	実績	－	－	－	－	－	2			
認定看護師	実績	17	17	17	18	18	20			
特定行為研修修了者	実績	－	－	－	－	－	8			



※実績は各年度10月1日時点

(カ) 職員向け院内研修会の1人当たりの参加数										単位：回
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
職員向け院内研修会の1人当たりの参加数	上半期実績	－	－	－	－	－	－			
	年間実績	4.3	3.6	4.1	4.6	7.3	6.8			

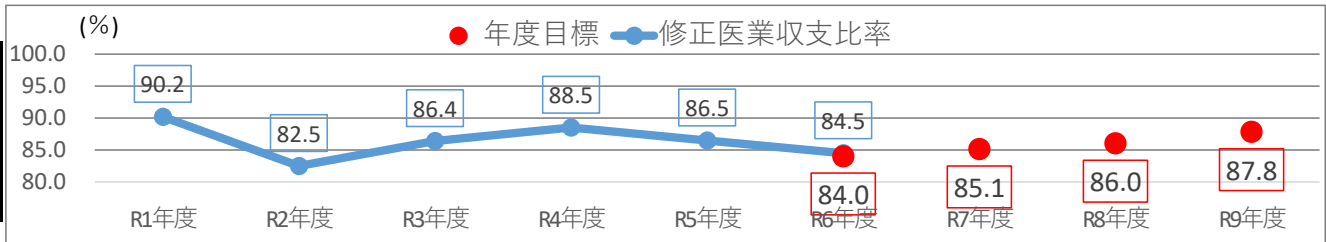


V 経営・財務の視点

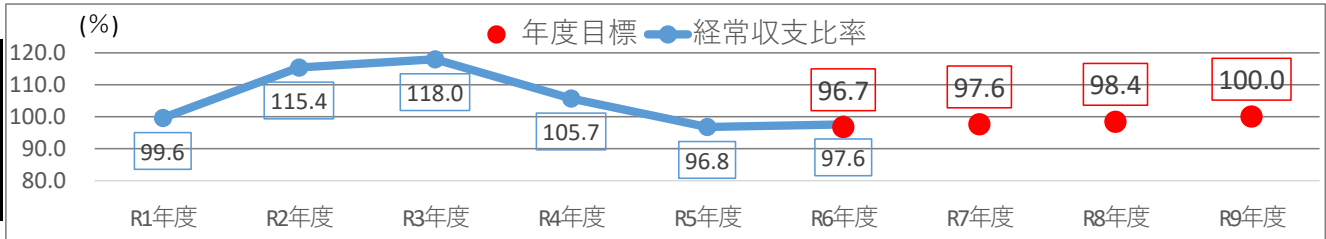
令和6年度（病院事業管理者、病院長、副病院長評価）									
令和6年度は、1日当たりの患者数や診療単価が増加した結果、前年度と比べ入院収益、外来収益ともに増加し、医業収益全体で約7億5,800万円増加しました。一方、人件費の増加や物価の高騰などにより、医業費用が約12億5,700万円増加し、結果として「修正医業収支比率」は84.5%となり、2.0ポイント悪化しました。また、「薬品費対医業収益比率」、「診療材料費対医業収益比率」、「職員給与額医業収益比率」の全てが増加しました。 なお、一般会計から繰入金が増加したことにより「経常収支比率」は、0.8ポイント改善しました。 良質な医療の提供には、経営の安定化が不可欠であり、今後も医師をはじめとする職員の確保や入院が必要な患者の積極的な受入れにより、収益増加につなげるとともに、効率的な運営により経費削減に取り組みます。									

K P I

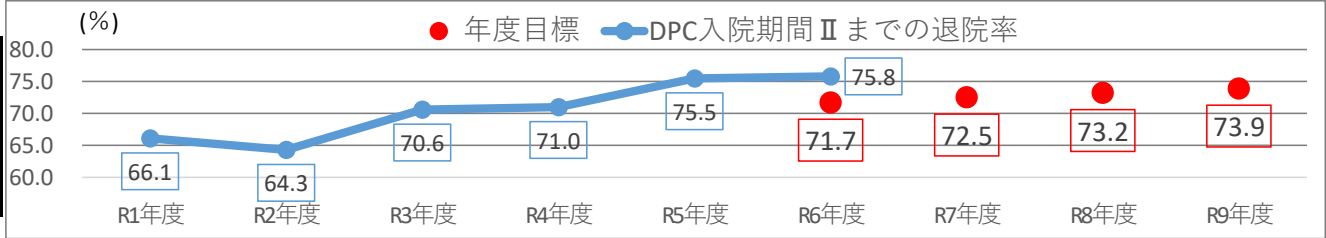
(ア) 修正医業収支比率										単位：％
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
修正医業収支比率	目標値	－	－	－	－	－	84.0	85.1	86.0	87.8
	上半期実績	95.9	78.1	88.0	86.5	87.9	87.1			
	年間実績	90.2	82.5	86.4	88.5	86.5	84.5			



(イ) 経常収支比率										単位：％
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
経常収支比率	目標値	－	－	－	－	－	96.7	97.6	98.4	100.0
	上半期実績	104.9	88.4	96.5	87.8	95.8	94.3			
	年間実績	99.6	115.4	118.0	105.7	96.8	97.6			

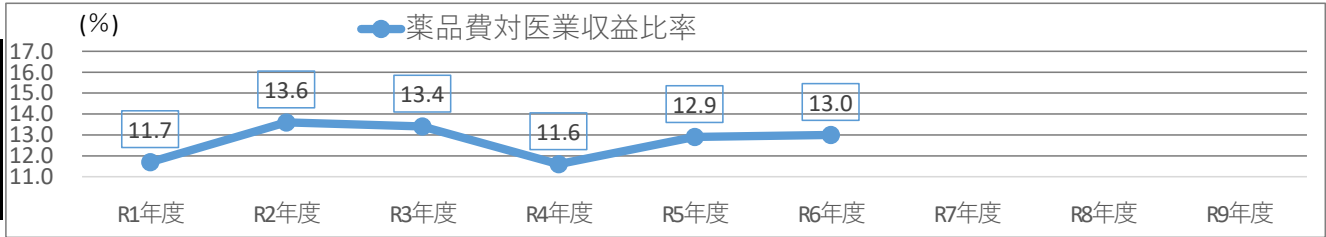


(カ) DPC入院期間Ⅱまでの退院率（入院期間尺度）										単位：％
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
DPC入院期間Ⅱまでの退院率（入院期間尺度）	目標値	－	－	－	－	－	71.7	72.5	73.2	73.9
	上半期実績	66.5	63.5	69.7	70.3	74.9	76.3			
	年間実績	66.1	64.3	70.6	71.0	75.5	75.8			

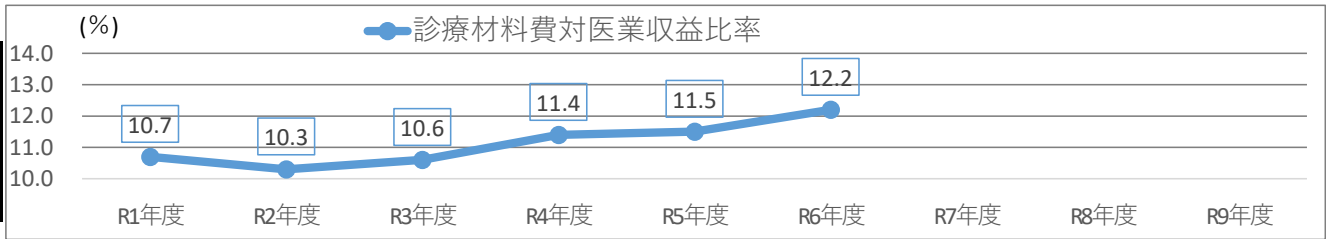


継続してモニタリングする数値

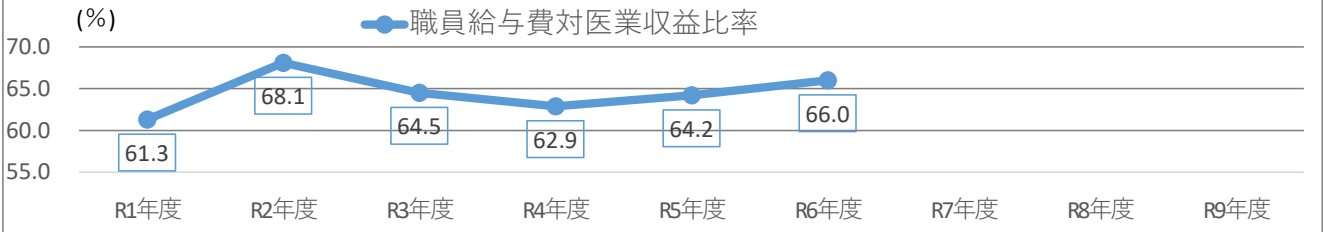
(ア) 薬品費対医業収益比率										単位：％
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
薬品費対医業収益比率	上半期実績	14.6	17.4	16.3	13.7	15.2	16.1			
	年間実績	11.7	13.6	13.4	11.6	12.9	13.0			



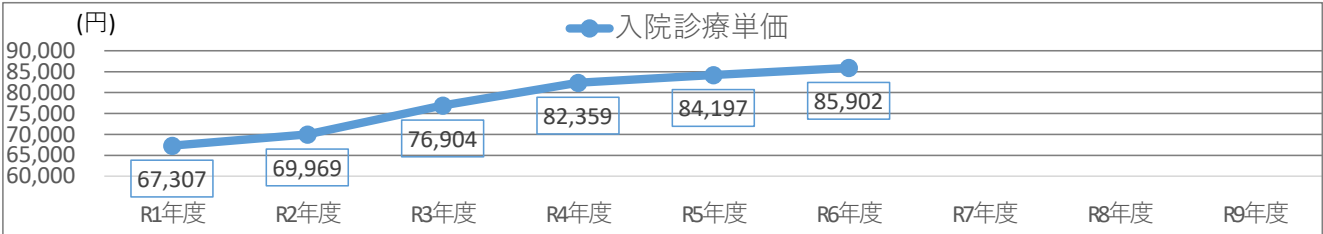
(イ) 診療材料費対医業収益比率										単位：％
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
診療材料費対医業収益比率	上半期実績	11.9	12.1	12.1	13.1	12.5	13.4			
	年間実績	10.7	10.3	10.6	11.4	11.5	12.2			



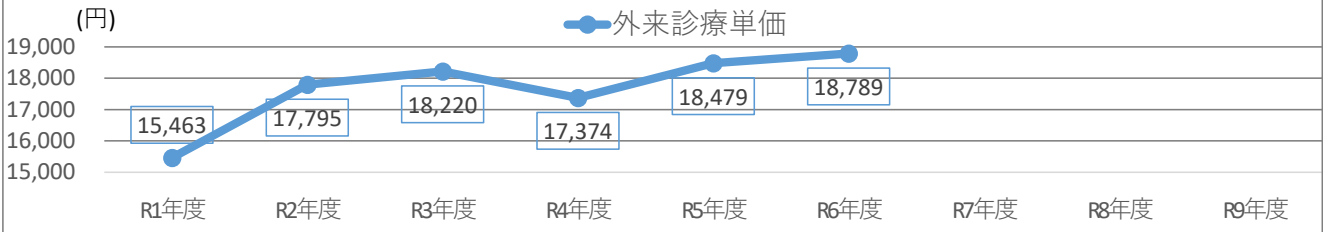
(ウ) 職員給与費対医業収益比率										単位：％
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
職員給与費対 医業収益比率	上半期実績	50.3	64.0	56.5	58.7	56.8	55.9			
	年間実績	61.3	68.1	64.5	62.9	64.2	66.0			



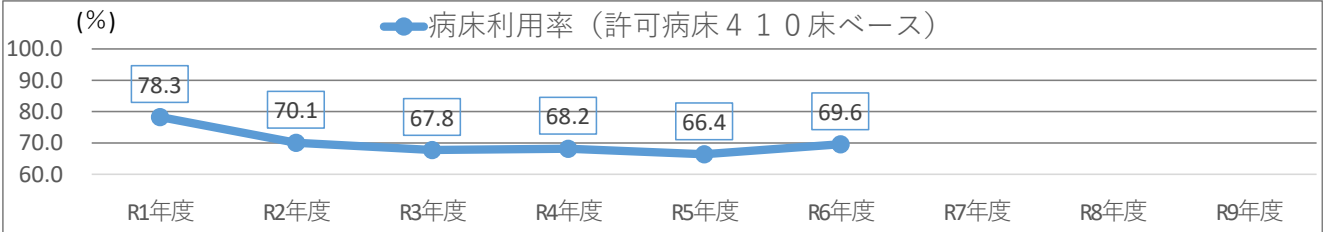
(エ) 入院診療単価										単位：円
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
入院診療単価	上半期実績	66,539	60,282	72,016	75,629	81,693	84,250			
	年間実績	67,307	69,969	76,904	82,359	84,197	85,902			



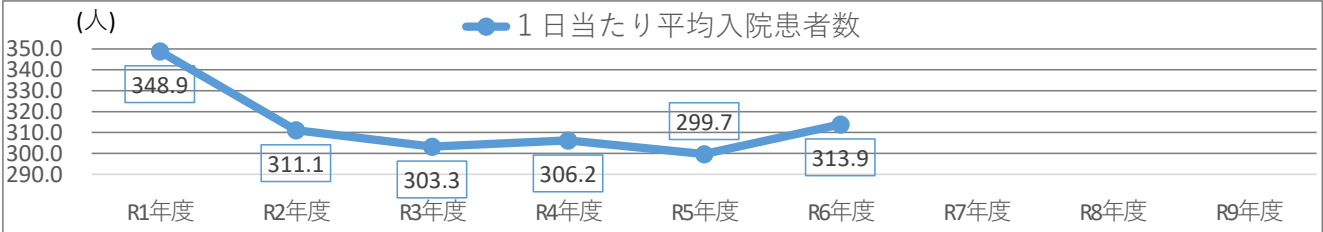
(オ) 外来診療単価										単位：円
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
外来診療単価	上半期実績	15,071	17,359	18,429	16,639	17,950	18,742			
	年間実績	15,463	17,795	18,220	17,374	18,479	18,789			



(カ) 病床利用率（許可病床４１０床ベース）										単位：％
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
病床利用率	上半期実績	79.0	68.8	68.6	67.6	65.1	67.9			
	年間実績	78.3	70.1	67.8	68.2	66.4	69.6			



(キ) １日当たり平均入院患者数										単位：人
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
１日当たり 平均入院患者数	上半期実績	352.5	305.2	307.1	303.7	294.4	306.9			
	年間実績	348.9	311.1	303.3	306.2	299.7	313.9			



(ク) １日当たり平均外来患者数										単位：人
区分／年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
１日当たり 平均外来患者数	上半期実績	839.3	693.3	732.3	751.4	753.8	766.8			
	年間実績	829.0	718.7	738.9	757.6	768.3	783.2			

